



農業試験場暖地園芸センターニュースは、平成5年8月に第1号を発行して以来、今回で第50号の節目を迎えることとなりました。そこで、本誌では、これまでに掲載した研究成果を整理し、総目次を作成しました。花きでは、スターチスに関する成果が最も多く、続いて、シュッコンカスミソウ、トルコギキョウ、バラ、スイートピーなどがあり、野菜では、実エンドウ、莢エンドウ、ミニトマトなどの成果が多く発表されています。

当センターでは、これまでに、主に日高、西牟婁地域特産の花き野菜について、新品種育成や栽培技術の開発に取り組んで参りました。今後とも生産者や現場指導員、関係機関の方々と密接に連携しながら、収益性の高い農業経営に寄与する研究開発に取り組んでいく所存ですのでよろしくお願いいたします。

農業試験場暖地園芸センター所長 藤岡 唯志

目 次

研究の成果	スターチスの常温育苗に適する品種	(金川 真実).....	2
	無加温ハウスで作る花き新品目	(花田 裕美).....	4
	実エンドウハウス栽培における効率的な電照方法	(川西 孝秀).....	6
	エンドウの発芽に及ぼす温度の影響	(田中 寿弥).....	8
研究紹介	スターチスのオリジナル品種を育成中！	(宮前 治加).....	9
	その他	これまでの研究成果—総目次—	10